

第7次松山市総合計画基本構想策定について
(提 言)

令和6年6月
松 山 市 議 会

提 言 事 項

(1)「これからのまちづくりに向けて」について

- ・言葉の選び方や言い回しが、簡潔で市民にわかりやすく、明るい未来がイメージできる表現になるよう配慮すること。
- ・「SETOUCHIの交流拠点」は、狭い地域に限定したイメージを与えないように世界へ発信するような広がりのある表現に改め、市民になじみのないアルファベット表記は、広く市民と共有できるようにすること。
- ・「つながる力」とは、「共に生きる力」という意味であることがわかるような表現を追記すること。

(2)「まちづくりの方向性」について

①「人」がつながるについて

- ・学校生活に限定せず、こどもの権利を守ることや、不登校・いじめ・ヤングケアラーなどの課題を抱えたこどもを支えるということに言及すること。
- ・Uターン・Iターンについては、定年後に限定されることなく、幅広い世代を対象とした内容にすること。
- ・投票率向上や政治に参画することを学び、主体的にまちづくりに関心を持つ市民が増えていることを表現すること。

②「まち」がつながるについて

- ・災害に強い安全・安心なまちづくりに向け、災害の種類に関わらず、災害が起こった時にとる行動の理解が進むことがわかる表現を追記すること。
また、災害弱者にきちんと配慮していることがわかる表現を追記すること。
- ・松山空港国際線の増便だけでなく、国内線の増便や新規航路の開拓も視野に入れた表現にすること。
- ・港湾や海上航路の充実についても追記すること。

③「仕事」がつながるについて

- ・感染症拡大や人口減少などを背景に、より重要性が高まっているエッセンシャルワーカー（人々の基本的な生活やインフラ等の維持に、必要不可欠な職種の従事者）が確保されている状況を記載すること。
- ・農業人口の増加につなげるために、職業としての農業に魅力を感じる若者が増えている表現を追記すること。

（３）基本構想全般について

- ・必要以上の抽象的な修飾語やカタカナ表記でわかりにくい部分があるため、市民が親しみやすく誤解を生まないような、わかりやすい語句や表現に配慮すること。
- ・多様性のある社会や生き方が尊重される時代に合わせ、柔軟性のある表現を心がけること。

松山市総合計画調査特別委員会 委員名簿

	氏 名
委 員 長	池 本 俊 英
副 委 員 長	原 俊 司
委 員	清 水 義 郎
〃	岡 雄 也
〃	池 田 美 恵
〃	太 田 幸 伸
〃	上 田 貞 人
〃	松 本 博 和
〃	本 田 精 志
〃	清 水 尚 美
〃	大 塚 啓 史
〃	上 杉 昌 弘
〃	寺 井 克 之
〃	土 井 田 学